



9月26日(月) ロゼシアター
開場 18:00 開演 18:30 中ホール

◇ 他団体の例会日程 ◇

清水(マーケット) 9月19日(月) 18:30 沼津・伊豆 9月29日(木) 13:30
静岡 9月22日(木) 18:30 (沼津市民文化センター)
(静岡市民文化会館) 9月23日(金) 13:00

他団体での観劇を希望される方は、事務局までご連絡ください。

ASP イッツフォーリーズ公演

てだのふあ

上演時間
2時間30分
(休憩15分含む)

原作＝灰谷健次郎
 (「太陽の子」角川文庫刊)
脚本・作詞＝ラサール石井
演出＝鶴山 仁
音楽＝吉田さとる
 挿入歌＝「ここはどこだ」
(作詞＝永 六輔／作曲＝いずみたく)



〈あらすじ〉

舞台は1975年、神戸の沖縄料理店「てだのふあ おきなわ亭」。そこに集まる沖縄出身の人々の悲しみを、料理店を営む夫婦の小学六年生の娘、“ふうちゃん”こと大峯芙由子の目を通し描いていく。「てだのふあ」とは沖縄の言葉で「太陽の子」の意味。

芙由子が六年生になった頃、父が心の病気になった。芙由子の両親は太平洋戦争を沖縄で経験し、1972年に沖縄が日本に返還される前に、母の親戚の“おじやん”を頼り、神戸に移り住んでいた。神戸で暮らし始めてすぐ、芙由子が生まれたので、芙由子は沖縄のことはあまり知らなかったが、父親の病気はどうやら沖縄と戦争に原因があるらしいと思っていた。芙由子は、なぜお父さんの心の中にだけ戦争は続くのだろうか？と父の病を気に掛けながらも、一生懸命に店を手伝っていた。

おきなわ亭は連日、常連客で賑わって

いた。戦争で片腕を失った“ロクさん”、芙由子に沖縄のことを教えてくれる“ギッチョンチョン”、神戸生まれの“ギンちゃん”、お父さんの友達のゴロちゃん、そして祖父の様に芙由子が慕うおじやん。そんなある日、ギッチョンチョンが“キョシ”という沖縄出身の少年をおきなわ亭に連れてくる。キョシは沖縄を出て大阪の身元引受人の元で暮らしていたが、どうやら悪い連中とつるんでいて、補導歴もあるらしい。どこか影があり、沖縄出身のキョシのことが、芙由子は気になって仕方がなかった。そして同時に父やキョシの心の向こう側に見え隠れする、芙由子がまだ一度も訪れたことのない“沖縄”という存在にも、芙由子の気持ちは動かされていくのだった。おきなわ亭に集う人々との交流を通じて芙由子は成長し、そして戦争が沖縄の人々に与えた悲しい過去に気づいていく……

てだのふあ 出演者

梶山先生



嶋田翔平

ギンちゃん



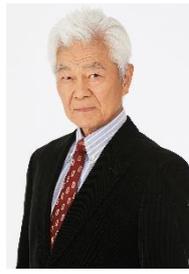
まいど豊

ろくさん



石井愷一

オジヤン



山野史人

大峰芙由子
おかあさん



普天間かおり

ギッチョンチョン



半澤昇

キヨシ少年



加藤木風舞

桐道さん



吉田雄

ゴロちゃん



浅川仁志

ときちゃん
クロス



明羽美姫

海の精
料理屋の女将



藤森裕美

おとうさん
(声のみ)
佐藤 B 作

演奏
吉田さとる(Pf.)
えがわとぶを(B.)
上原なな江(Drs.)

クロス
大学生



矢野叶梨

クロス
大学生



向谷地愛

キヨシの母・
姉



神野紗瑛子

ふうちゃん(小学校6年生)
Wキャスト



星茜音



大村響叶

児童文学作家・灰谷健次郎が1978年に出版、ミリオンセラーとなり、映画、ドラマ、舞台化もされた「太陽の子」をイッツフォーリーズが2019年にミュージカル化。沖縄復帰50周年にあたる2022年。基地問題は未だ解決の糸口も見えず県民所得や子どもの貧困化のことなど、沖縄は問題を

抱えたまま、50年という年月のみが過ぎていっています、この節目の年に『人間の本当の優しさとは何なのか』という、灰谷健次郎が生涯問い続けたテーマを音楽と笑いに包み、伝えていきます～貧しくも懸命に生きる市井の人々の姿を描く心温まるミュージカルである。

沖縄戦

1941年(昭和16年)に始まった太平洋戦争が終わる1945年(昭和20年)日本軍とアメリカ軍だけでなく住民全てを巻き込んだ戦いが沖縄では3カ月以上続きました。

沖縄では、日本軍とアメリカ軍の直接の戦いが地上で行われた場所であり、その戦いによって子供やお年寄りを含めて多くの方が犠牲となりました。亡くなった人は、沖縄の住民94,000人、沖縄出身者を含む日本軍94,316人アメリカ軍10,250人とされています。

日本の死者行方不明者はアメリカ軍、連合軍の約9倍。歴史の中でも類を見ない悲惨な戦争でした。

1945年3月26日那覇市にある慶良間諸島にアメリカ軍が上陸。4月1日沖縄本島中部読谷村に上陸し、北と南に向かったアメリカ軍は、日本軍の本部があった首里城を攻め軍を進めました。その目的は①沖縄をその後の軍事的拠点とする。②日本軍の海上、空域、通信の阻止。③本土決戦となった時の拠点です。中部および首里で行われた戦いは40日以上も続く激しいものでした。5月下旬日本軍は南部に撤退しました。住民を巻き込んで多くの方が犠牲となりました。

沖縄戦が終わったのは、日本軍の司令官が自分で命を絶った6月23日とされています。その後もいろいろな場所で日本軍の抵抗は続きました。そのため日本軍が降伏文書にサインをしたのは、9月27日でした。

6月23日は「慰霊の日」として戦争で亡くなったすべての人のご冥福と平和を祈り、各地で「慰霊祭」を行っています。(ウィキペディアより)

イツフォーリーズ

ミュージカルカンパニー イツフォーリーズは、1977年に作曲家いずみたくが創立した日本のミュージカル劇団。旧劇団名は「いずみたくフォーリーズ」、「劇団フォーリーズ」。六本木の小劇場「アトリエフォンテーヌ」を本拠地にしてきたが、アトリエフォンテーヌ閉館に伴い2012年7月に東京都台東区に移転。2016年6月にあうるすぽっとにて40年記念公演を行った。

イツフォーリーズ いままでの例会

第28回 「俺たちは天使じゃない」	有島一郎	大宮悌二	・・・	1980年2月9日	
第161回 「ミラクル」	・・・	福沢良一	小野文子	・・・	2002年3月25日
第180回 「俺たちは天使じゃない」	井上一馬	福沢良一	・・・	2005年5月29日	
第192回 「点切り松」	・・・	左とん平	井上一馬	・・・	2007年5月26日
第223回 「青空の休暇」	・・・	井上一馬	宮川浩 駒田一	・・・	2014年11月12日
第253回 「死神」	・・・	園岡新太郎	井上一馬	・・・	2018年4月4日

灰谷作品へのおもい

灰谷さんの作品との出会いは、たぶん大学生だったので40年以上前になります。私は教育学部の養護学校教員養成課程で障害児教育の勉強をしていました。今でいう特別支援教育です。小学生のころから学校の先生になりたかった私は、大学受験の時に教育学部のどの教科を受けるのかいろいろ考えました。そして、障害を持つ「かわいそうな子どもたち」のための先生になりたいと思いました。大学で学び始めるとすぐに、私の考えが間違っていたことに気づきました。本を読んだり、いろいろな人の話を聞いたり、障害を持った子どもたちと接することで、「どんなに重い障害を持った子どもも成長しようとする力がある」「一人一人の成長を支えたり見守ったりすることが大切」だということとを教えてもらいました。



灰谷さんの作品には絵本や子どもたちの詩もあります。障害を持った子どもや貧しい暮らしの中で懸命に生きている子どもの作品もあります。登場する子どもたちはみんな辛いことや楽しいことを感じながら力強く生きています。「太陽の子」のふうちゃんも沖繩出身の辛い経験をしてきた周りの人たちのかかわりの中で成長していきます。灰谷さんの作品は懸命に生きている人たちを大切に描いているから好きです。

私の好きな作品の一つに「だれもしらない」という絵本があります。今回、久しぶりに読んでみて感動で心がふるえました。おとめぎ 福原みさよ

『しゃぼん玉』感想

とても良かったです。日常の中で心温まるでき事を取り上げ心がほっとする劇でした。私も主人公のように年をとり、そんなおばあちゃんになりたいと思いました。

佐々木さん素晴らしかったです!!

あんなに大きなやさしさに包まれたら人はきつと素直になつていける。小さな子どものように純真に人を信じる心を取り戻せるんですね。心が和む舞台でした。

とても良い舞台。内容、確かな演技力。人間、捨てたもんじゃない!!

スライドショーも良かった!! 心あたたまるお話! 心の中を伊豆見が言葉にしてくれて、とてもよくわかりました。楽しかったです。

後半から良かった。感動した。人を信じる事の大事さ! とても大事ですね。多くの人が人を信じるように! 感動をありがとうございました。ありがとうございました。

演技の勉強中でありませう。表情と声がよく見え聞こえました。また、ロゼに来てください。ね。長くお芝居できるのは幸せなこと。自分も健康に続けていきたいです。

人は愛によって生まれ変われるもの。とても感動しました。良い作品でした。「ぼうは良い子」見守ってくれる人がいるこ

とは大事ですね。

舞台の展開がスピーディーで気持ち良かった。よく練られた構成で、さすがだと思いました。役者さん方も鍛えられているなあと感心しました。よく通る発声で耳に心地よかったです。どならない演技、無理のない演技が好きです。

あら!! おもしろい。初めは「早く捕まればいいのに」と思ったけれど、最後は「立ち直つてまっとうに人生、生きて!!」

脚本が良かった。ずっと笑っていました。こういう話は好きです。

原作も映画も見えますが、きょうのお芝居もとっても良かったです。皆さんの声がすごく良くて、心に響きました。ありがとうございます。

私は宮崎の高鍋にいて、中学1年の時京都のおばさんをたよりに大阪に行き、今は目の見えない女房と盲導犬と生きています。私は高校の時、点字と出会い、今3人の子と人との出会いで生きています。

人と人との出会いの大事さが伝わる内容でした。過去に悪いことを犯してしまった主人公が変化していくところに心が打たれました。今回、母親の代わりに初めて参加しましたが、良かったです。これからも富士山演劇鑑賞会を応援します。感動をありがとうございます。佐々木愛さん、声も良く通るし達者だね! しゃぼん玉にはしゃぼん玉、味わいがあるが!!

田舎の和気あいあいの村にも人間だから、それぞれ問題もあって、いる明るくなる芝居。

大好きな乃南アサの作品が劇化される！（この作者の「音道貴子シリーズ」楽しいですよ）この物語は今の世知辛い日本ではありえないようなファンタジー（？）でも日本のどこかに

在るかもしれない椎葉村、日本人の良さを信じたいですね。スマとシゲ爺の言葉を越えた生き方に観客は多くを教えられ帰宅する。「シャボン玉」でなくなった翔人に共感の大拍手！！

未来への希望は、周りの人を大切にすることからつながっていくのだと思います。スマの「坊はええ子じゃ」シゲ爺の「心根を強く持て」の言葉は、胸に響きました。源氏と平氏が共存したという伝説を持つ椎葉村では過ちをおかしたり、心に傷を受けたりした若者も前を向いていきっていくことができます。佐々木愛さんの演技が特にすばらしかった。

しばらく前に原作を読んで気に入った作品。前半の前半は緊迫感や凶悪さでは本にはかないませんでしたが、この恐ろしさや田舎の素朴さとのギャップがもつとあれば：序々にイズミ君本人のぼやき気味の語りでの舞台転換は面白く、何といつてもまわりの登場人物の存在感最高！大自然の豊かさの中で人が生かされ優しさがあふれ本来の心を取り戻して

いく温かい作品。ほっこりしました。

いずみは、すさんだ生活で気持ち荒れていたけど、本当は自分をみつめる心を持っていてと思う。村人達の純朴な心、態度、スマさんの何もかも見透かした、いずみを見守る心で立ち直っていく過程がわかりました。原作の作品を読んでみようと思います。

又、佐々木愛さんの声がお母さんの鈴木光枝さんに似てきましたね。

運営担当の声感想

2ヶ月に一度の演劇とても楽しみのひとつです、毎回感動があります。今回のしゃぼん玉とても役者さん達の役に徹して、わかりやすく、現社会に忘れつつある人とのつながり、かかわり思いやり、いつの世でも大切さをもう一度考えさせられる。とても良かったと思います。方言がとても親しみやすく感じました。人を信じる心は人を大きく変えることにもなる力を持つている、もう一度自分も日常考えて行動したいです。ありがとうございます。次回も楽しみにしております。

(BOKEZ)

事前に原作を読み、感動。この小説がどんな芝居になるのか期待し、楽しみだった。

真つ暗の中、ピカッと光る車のライトと同時に転がり出る男。翔人の登場、期待膨らむ幕開け。温かく、芯のある、かわ

いいおスマさん。味わい深い演技に安心、ユーモラスな3人の世話焼きおぼさん達とのかけひき、人としての生き方をさすシゲ爺等々まわりの人々の言動が翔人のすさんだ心に変化をもたらし、いく。期待通りの、いや、それ以上のすばらしい芝居だった。シゲ爺の言葉が心に残る。気持ち弱いとあつちに分らふら、こつちに分らふら：自分のことだけの奴は人の心が分らん、自分が痛いと思うことは人だつて痛いのだ。

(スカパン3)

「しゃぼん玉」は、ほのぼのとした、心温まる舞台でした。出演者の皆様の大きな、けれどもごく自然な動き、絶妙なる会話を心ゆくまで楽しませていただきました。

演技・会話のうまさもさることながら筋の運び方も実にスマートで、寸時も気がそがれることなく、最後まで夢中で見ていました。すばらしい舞台をありがとうございました。

(やまたのおろち)

「俺はただ、生きていくだけのしゃぼん玉だ、どこかに着地しようとするれば割れちゃう。誰かに触れば壊れて消えてしまいう、しゃぼん玉」と思ってきた彼の今までの人生が、老女スマや村人たちの温かさに触れていくうちに徐々に自分のしてきた事を反省し、又、スマの抱えている悩みに遭遇し、自分を接する事、改めて人間は一人で

は生きてはいけないと思いついた。今の世の中、おせっかいを焼いてくれる人が減っていった時代。この劇でほのぼのとした温かい気持ちになりました。

(ブレンド)

しゃぼん玉の大型ポスターを貼らせてもらっていましたが、会報を見るまではバイクに乗った佐々木愛といずみ役の男性の俳優を見て、どんな展開だろうと思っていました。芝居が始まるとどんどんひき込まれ激しい場面、そして、笑いが思わず出てしまう場面、佐々木愛を中心とした劇団の熱意が伝わってきました。場面の繋ぎに椎葉村の風景が写し込まれて、より一層引き込まれました。

伊豆見翔人が素朴な村の人たちとのふれあいで、次第に本来の自分を取り戻していくことに、私たちの生活にも重ねて、そうありたいと思いました。やはり、文化座のお芝居は感動するものが多くすばらしかったです。

(厚原薬局)

私は演劇鑑賞をするのが好きです。何故ならば人間というあぶなっかしい動物を役者さん達が表現してくれて、自分がどう生きなければならぬかと考えさせてくれるからです。今回の「シャボン玉」は悪の心を持った「いずみ」という青年と善の心を持った「スマ」という老婆を通して、人間は環境によって悪にも善にもなると表現してくれました。その中にあって、「シゲ爺」が「いずみ」



を山仕事に誘い一休みしている時、自身の胸に手をやり「人というものはここだよ」と言う場面は、このお芝居の本質を表現していたと思いました。私自身は今までを振り返ってみて、若い頃は「いずみ」とそんなに違いがないと思っていました。よかったです。(紙風船)

劇中のような出会いが日本中のあちこちであつたら良いのになあと何度か思いました。日本の古き良き慣習とでも言うのか、でももうすでになくなつてしまい別の世界のように思えたけれど、実は私のまわりのあちらこちらで、このようなことがいっぱいあるんだと気づかされました。ありきたりの日常に思いを寄せ、これからもまわりの方々に助けられて助けて生きていきたいと思えたお芝居でした。運営の皆様、熱演された俳優の皆様、お疲れ様でした。ありがとうございます。(JOYRIDE)

今回が2回目の観劇です。初めて担当サークルとして参加させて頂いた頂きました。座席決めのお手伝いを通し、いつもこのような形で準備が進められていた。当日はコロナ仕様という事で、お手伝いは大幅に削減となりましたが、会場前のピリッとした空気を味わえました。開演前アナウンスも、担当の関係者様はとても親切で、素敵な経験となりました。
『しゃぼん玉』無償の愛の尊

さに、胸が熱くなりました。私の世代は女性が社会進出を果たし、男女平等・夫婦共働きも当たり前前の時代、「子どもなんて、放っておいても勝手に大きくなるから大丈夫！」と声高に言う知り合いもおりました。それは違う！大きくなるのは身体だけで、たっぷりと愛情を注がなければ心は育たないよ！と常日頃から思っておりました。(共働きでも、ちゃんと愛情を注いでる方も大勢いますね。私の両親も自営業の共働きでした。)両親の愛情に恵まれなかったとしても、他の人からちゃんと愛情を注いでもらえた人は、しつかりと心が成長していく姿を、素晴らしい芝居で見させていただきました。ありがとうございました。

(Cherry hill)

運営サークル活動に参加して

仲間作りの難しさ(大会員数を増やす)。自分が若い頃に入会していた市民劇場。仕事をしながらだったので観劇すること満足でした。時が経ち、すっかり観劇から離れた生活を何十年過ぎた頃ふたたび縁ができて参加に至りました。友人を誘って入会。運営サークルに参加して搬入のお手伝いでした。しかしながらコロナが再び増え始め劇団からお手伝いのストップがかかり、ドアの開閉を担当しました。開場時間になり会員さん達がホールに入り始め、お互いに気持ちよく

挨拶してお迎えする事ができ、メンバーが同じ気持ちで参加している充実感を味わう事ができました。(BOKEF)

運営サークル5回の会合に参加。鑑賞会や劇団の歴史について

の話聞き、話し合う。そして毎回、会員を増やすための活動を報告しあう。コロナ禍で声をかけにくい折だが、数人の知人に声をかけた。「行かれなくなった人の代わりに行ったことあるよ。おもしろかった」と言う人もあつたが、いい返事をもらえなかった。今後もしもあきらめず、声かけをしていかなければと思う、運営サークルの折でなくとも。(スカパン3)

運営サークルの開催が昼間のみに変わったため仕事の都合が

ついた3人が交代しながら6回中4回に出席しました。運営サークル数が少なくなつたのが逆に幸いして「私たちが運営している」というまとまりが出てきたと思います。司会がサークル会員で、役員さんがフォロワーに入ってくださいるのも良かったのではないのでしょうか。今回、入会には至りませんでした。今年2人の新入会者を迎えたので、そこからまた新たに誘ったり感想を伝えたりし続けます。コロナのため、搬入が取りやめになつたのは残念でした。(Cherry hill)

私達のサークルは77歳〜82歳までの3人です。富士山演劇鑑

賞会維持する気持ちは強いです。今回担当になり、何とか仲間を増やそうと4人の人に声をかけました。そのうち亡くなつた(昔入会していた)母親の娘さんに話したところ、昼ならばいいが夜は忙しいと断られました。また、昔入会していた女性にも話したところ、息子と二人暮らしで息子の帰りが、夜12時なので一人で留守番するのが怖い。昼なら入会して良い。」と言われました。また別の女性(乳がん手術後コロナで退会)にも話しましたが、旦那さんが「コロナが終息するまでは出て行かないように。」と言われたと断られました。そういうわけでクリアーは出来ませんでした。ですが、これからもこれにめげず頑張つて声かけをしようと思つています。(紙風船)

(JOYRIDE)

『しゃぼん玉』 運営サークル活動のまとめ

自分たちが選んだ今年の一押し『しゃぼん玉』クリアでお迎えすることを指して例会前に5回の運営サークル会を持ちました。

会の司会進行と記録も担当サークルのメンバーで分担し、会を重ねることに和気あいあい、リラックスした雰囲気での活動の報告や意見の交換ができました。

1回目の会では、「中ホールでの例会はいよいよね!」「右、左と知った顔が並んで観劇できてうれしかった!」等々の声が上がリ、恵まれた観劇環境を再確認してのスタートです。

お誘いや声かけの活動をする中で、やはり「高齢化」と「コロナ禍」が新入会への大きなネックになっていることも改めて実感しました。

しかし、担当サークルの一つでは「新しい仲間から、次の新しい仲間へ」と三人もの入会があって「入会につながる声掛けの方法」が話題的になり、「やっぱり私たちの活動を知ってもらうことが大切な第一歩」と声かけの大きな励みになりました。

舞台の理解を助けるため作っている「人物関係図」も、皆で意見を出し合い

「しゃぼん玉」に見立てたシールを飾りつけて作成。この「人物関係図」は例会日にロビーで好評で、嬉しかったです。

当日はいつもより多い感想の提出があり、演劇の持つ力を実感しました。

残念ながら入会8名(退会14名)とクリアはできませんでしたが、「次の例会から」と入会を約束してくださった方もあります。諦めずこつこつと声かけを続け、観劇の楽しさを伝えて活動していきましょう。



サークル数	68
サークル増	0
サークル減	0
±	0
会員総数	421
入会	8(1.9%)
退会	14(3.3%)
±	-6
例会参加率	85.30%



運営担当サークル	スカパン3	やまたのおろち	24cosumos	6・6	紙風船
	ブレンド	JOYRIDE	厚原薬局	BOKE	CHERRYHILL
	スピッツ	夕焼け雲	K・O	招き猫	ミセスポテト

運営担当サークルの皆さんお疲れさまでした

次例会のおしらせ

No.277 例会

2022年 12月 1日(木)

ロゼシアター中ホール

開場 18:00

開演 18:30

劇団俳優座公演

雉はじめて鳴く



作 ◆横山卓也
演出 ◆真鍋卓嗣

上演時間
2時間 休憩なし

出演

浦川 真由	若井 なおみ
舞原 健	深堀 啓太郎
舞原 杏子	清水 直子
片山 泰二	八頭司 悠友
奥野 早織	後藤 佑里奈
吉水 真紀子	山下 裕子
石嶺 総一	河内 浩
戸倉 治	宮川 崇
藤堂 智恵	保 亜美
女	天野 眞由美
男	塩山 誠司

とある県立高校

国語教諭の浦川麻由は、中堅の域に入り、教員として卒なく仕事をこなしている。

二年を受け持つ彼女のクラスには家庭に問題を抱える舞原健がおり、彼の相談に乗るようになってから、少し困難なことが起きはじめている

浦川は一年時に健の担任であったサッカー部の顧問の戸倉治と問題を共有し、健のケアに気を配りつつ、彼女の心の平穏を探っている。

重要なお知らせ

- ・会費納入10月会費 9月28日(水)～ 10月5日(水)
- 11月会費 11月1日(火)～ 11月9日(水)
- ・退会締切 10月5日(水)
- ・シール配券『雉はじめて鳴く』 11月1日(火)～ 11月9日(水)

『雉はじめて鳴く』担当サークル

夏椿・スカパン・スカパン2・吉原工業・希望
気楽生会・はまかぜ・丸啓・さくらんぼ・彩・Dembo
富士宮北高・S-1・同級生・アンジュ・こぶ茶の会

- ★ 例会翌日は、事務局は休みです。
- ★ 毎月の会費納入は、基本的には
月末の25日～月初め5日 です。
※例会等の関係で変更になることがあります。
- ★ 例会運営サークルの集いの日程は、担当の
サークルリーダーにお知らせします。
- ★ 退会する場合は、退会締切り日までに
手帳裏表紙の退会届に必要事項を記入の上、
事務局へ提出して下さい。
- ※電話やFAX、郵送での退会受付はできません。
- ※入会1年未満の方と退会締切り日後の退会は
認められません。ご了承ください。

【事務局からのお願い】

不要になったハガキや切手がございましたら、例会会場、または、事務局にお持ちいただくと大変助かります。それぞれ未使用であればどんなに古いものでも結構です。

アートキャラバン事業へのご協力 ありがとう！

皆さんへのアンケートはアートキャラバン事業の大きな後押しになっています。

今年のアンケートは「あゝ東京行進曲」のリーフレット内のQRコードより回答をお願いします。
まだ提出されていない方は、よろしくご協力ください。

事務局にアンケート回答用紙がありますので、お出でいただき直接記入してくださってもかまいません。

富士山演劇鑑賞会

富士市元町12-26 田中ビル101号

TEL 0545-63-9201 FAX 0545-62-1687

Eメール fj_simingekijou@ab.thn.ne.jp

http://web.thn.jp/ fj_simingekijou/

ホームページ [富士山演劇鑑賞会] で

観劇のマナーを守って 楽しく「かんげき」しましょう

- ・携帯電話の電源は切りましょう
- ・開幕前は静かに待ちましょう
- ・お話は上演終了後にゆっくりと
- ・客席での飲食はできません